



益城町に関する話題やイベントなど広報係が取材したできごとをご紹介します。

町づくりに住民の力が結集

木山の史跡とギャラリーを巡る催し「木山物語」

木山商店街一帯で11月1日、住民手作りの催し「木山物語」が開催され、多くの人出でにぎわいました。

この催しは、益城ほりおこし隊（永井雄二代表）が「行政に頼らず自分たちの手で町づくりを行っていく」と今回初めて開催したもので、会場周辺に散在する史跡巡りが行われたほか、さまざまなギャラリーが開かれました。

心配された雨も何とか持ちこたえ、予定通り実施された史跡巡りには、地元住民のほか他校区の人、地元を知ろうという職場仲間など約50人が参加。同隊員の城本誠也さん（赤井）、



①

①史跡めぐりで城本さんの説明を聞く参加者（木山城趾）
②マフラー作り体験でにぎわうアートプリント（きやま座）
③木工作品や手作り小物、押し花などが並んだ店舗（福永酒店）



四半的弓道体験など25もの多彩なギャラリーが開かれ、野草を使ったアートプリントによるマフラー作りなどが人気となりました。

夫婦で史跡めぐりに参加した折田豊生さん（登和子さん（馬水南）は「友だちに誘われて参加しましたが、新しい発見ができてとても楽しく歩きました」と笑顔で話しました。

半年前から準備してきたという永井代表は、「町づくりに向けて、まずは知ることが必要だと思って開催しました。これを機に少しでも活動の輪を広げ、今後は地域や文化の枠を越えた町づくりも考えていきたい」と意欲的に話しました。

また、一帯では「きやま座」を中心に、手作り小物の販売や制作体験、子ども神楽、フリーマーケット、

松野陽子さん（市ノ後団地）による丁寧な説明案内を受けながら、木山城趾を始め一帯に散在する地蔵や猿田彦、西南戦争にかかわる史跡など15か所、約6・5キロの道のりを歩きました。



園川さんの指導により真剣な表情で稲を刈る園児

たわわに実った稲をみんなで収穫

園川金泉さんが第5保育所で稲刈り指導

10月23日、町立第5保育所（榎木野清美所長）で園川金泉さん（寺迫）が稲刈りの体験指導を行いました。

これは、野菜作りを通して食育を推進する同保育所が田植えから依頼していたもので、園児たちは園川さんの優しく丁寧な指導の下、ポリ容器にたわわに実った稲を真剣な表情で刈り取り、収穫しました。

園川さんは「自分で育てれば作物にも愛着が湧き、体験することで知恵となるんです。野菜作りを通して好き嫌いなく何でも食べてもらいたい」と話しました。

Best Smile
今月のベスト笑顔

